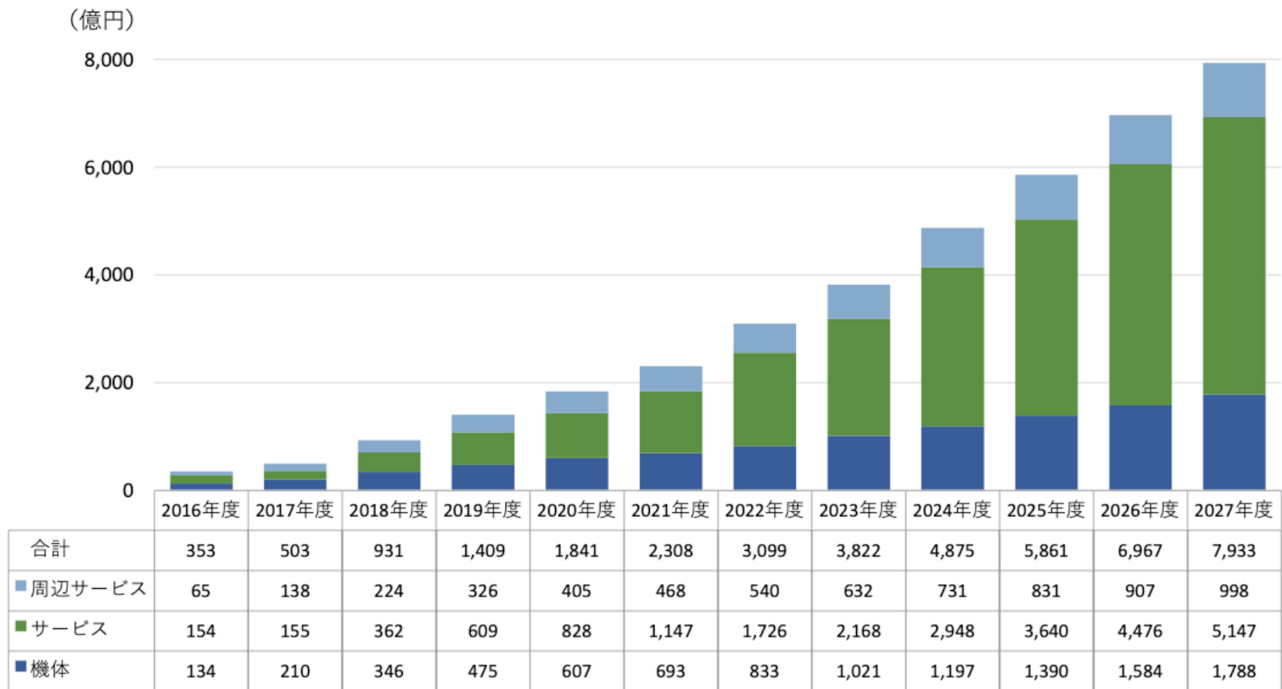


既に多くの産業分野でドローンが利活用され始めており、
ビジネスの市場成長期を迎えようとしています。
(インプレス総合研究所は、以下のように予測しています。)

国内ドローンビジネスの市場規模推移予測



ドローンビジネスの市場規模は、機体とサービスと周辺サービスの3つで構成される。機体市場は、業務用（固定翼および回転翼、ローバー型、ポート型、潜水艦型）の完成品機体の国内での販売額。軍事用は含まない。サービス市場は、ドローンを活用した業務の提供企業の売上額。ただし、ソリューションの一部分でのみドローンが活用される場合は、その部分のみの売上を推計。企業や公共団体が自社保有のドローンを活用する場合は、外部企業に委託した場合を想定し推計。周辺サービス市場は、バッテリー等の消耗品の販売額、定期メンテナンス費用、人材育成や任意保険等の市場規模。

サービス市場の分野別の内訳

